

### ■ 研修目的

役職定年を迎える（迎えた）職員が、これまで培ってきた経験・知識を改めて価値として捉え直し、役職に依存しない新たな役割意識と前向きな人生態度をもって、引き続き組織や社会に貢献していくことを目的とする。

### ■ 研修目標

- ① 役職定年を「次の役割への移行」として前向きに捉え直す。
- ② これまで受けてきた恩を次世代や組織へ「恩送り」（Generativity）する意義を再確認する。
- ③ 今後期待される役割や果たせる自分の価値を明確にする。
- ④ 役割遂行に必要なスキルを確認し、具体的な行動計画を作成する。

### ■ 研修内容（1日：6時間）

	内容項目
午前	<b>1 導入 ～オリエンテーション～</b> （1）本研修の目的の確認、本日のゴール提示 （2）ミニワーク（個人）：「今の正直な気持ちを書き出す」 <b>2 マスター職員（役職定年を迎える職員）を取り巻く環境の変化</b> （1）時代背景の変化 （2）求められる能力の変化 （3）個人ワーク・グループ共有：「キャリア棚卸し × 時代背景」 <b>3 役職定年期に直面する問題とマインド転換</b> （1）場面想定：元部下が上司になり、指示を受ける側になったときに起きがちなこと （2）グループ討議：「立場が入れ替わった場面をどう捉えるか」 （3）講師まとめ
午後	<b>4 役職定年後の望ましい働き方</b> （1）マスター職員に期待される役割の再確認 （2）個人ワーク：「自分の強みの再定義」 （3）ペアワーク：「価値の翻訳ワーク」 <b>5 キャリアシフトに向けた計画策定</b> （1）個人ワーク：「今後、組織から期待される役割」「そのために強化するスキル」「意識して変える行動」等 （2）グループワーク：「応援メッセージ交換」 <b>6 まとめ</b> （1）今日の振り返り （2）「行動宣言」 （3）講師メッセージ